学校番号	318

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「保育実践」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの心身の発達や特性、子どもの生活についての学習をもとに、子どもと接するために身につけておきたい技術について、実習を中心に行います。何よりも大切なことは、子どもの目線に立って考える習慣をつけることです。また子どもと接する機会を設け、楽しんで子どもと接するようにしましょう。

2　学習の到達目標

子どもと遊び、子どもの表現活動、保育などに関する知識と技術を習得させ、こどもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。２年時の基礎を生かし、さらにレベルの高い、また多くの機械や機器を使えるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子供の心身の発達を理解し、発達段階や個々に応じた働きかけができるようにし、その技術や方法を実習を通して身につける。	作品の制作や実習においては、特にグループ学習などでは、自分が何をするべきかを判断する力を身につける。特に子どもと接する実習においては子どもの様子を観察し、子どもの立場に立って行動する力を養う。	自分の特性やグループの特性を考え、積極的かつ楽しんで実習に取り組む力を段階的に育てていく。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		工作3 季節のカレンダーづくり 12か月の行事や季節感を表現したカレンダーを一か月単位で作成する	a: 工作についての技術を習得するとともに、それを作品として表現する方法を作品を通して身につける。 b: 工作の特性を理解するとともに子どもと接するときに、どのように指示し、年齢や個々の特性に応じて方法を工夫するかを考える。 c: 工作を通して、自分の考えたことを形にする方法、うまくいかないときの乗り超え方、失敗したときの対処法、継続して取り組むことを体感し、さらにそのことを子供に伝えることについて考察することができる。	作品 ワークシート	振り返りシート 相互評価	授業観察 振り返りシート
		ペープサート	a: 歌を基本とするペープサートの基礎を学び、必要な技術を習得する。またグループでの協働を学び、作品を作り上げるために自分がどのようなことで役に立てるかを考えることができる。 b: ペープサートの特性を理解するとともに子どもに見てもらう際にどのように工夫すればより喜んでもらえるかを考えられている。 c: ペープサートを通して、自分の考えたことを形にする方法、うまくいかないときの乗り超え方、失敗したときの対処法、継続して取り組むことを体感し、さらにそのことを子供に伝えることについて考察することができる。またグループで作り上げる喜びを理解できる。	作品 ワークシート	振り返りシート 相互評価	授業観察 振り返りシート

2		手芸に取り組む3 レッスンバッグ・上履きケース・コップ入れを作る	a：ミシンを使った被服製作についての技術を習得するとともに、それを作品として表現する方法を作品を通して身につける。 b：ミシンを使った被服製作の特性を理解するとともに、自分のオリジナリティを表現する方法を考えられる。 c：ミシンを使った被服製作を通して、自分の考えたことを形にする方法、うまくいかないときの乗り超え方、失敗したときの対処法、継続して取り組むことを体感し、出来上がりの喜びと、それを子どもたちにどのように伝えるか考えることができる。	作品	振り返りシート 相互評価	授業観察 振り返りシート
		こども園との交流会に向けて	a:近隣こども園園児との交流会に際し、プログラムの組み立てや進行に関する事本的な技術を習得する。また保育コースのメンバーをどのように配置するか、今まで学習してきた内容をどのように生かすかを考えて組み立てることができる。 b:交流会に際し、子供の目線に立った計画をできているかを常に振り返り、お互いにアドバイスしあえる力をつける。 c:交流会を進めるにあたり、細かいところに配慮し、修正し、新しいことに積極的にトライする気持ちを養い、子供たちの反応が自分の喜びにつながる気持ちを持てる。	振り返りシート 授業観察	振り返りシート	授業観察 振り返りシート

		工作4 クリスマスリースの作成 グルーガンを使った工作	a: 工作についての技術を習得するとともに、自分のやりたいことを作品として表現する方法を作品を通して身につける。また年中行事についての理解を深める。様々な機器の使い方を学習する。 b: 工作の特性を理解するとともに子どもと接するときに、どのように指示し、年齢や個々の特性に応じて方法を工夫するかを考える。 c: 季節感のある工作を通して、自分の考えたことを形にする方法、うまくいかないときの乗り超え方、失敗したときの対処法、継続して取り組むことを体感し、さらに年中行事について子供に伝えることの意義について考察することができる。	作品	振り返りシート	授業観察 振り返りシート
3		調理実習 こどもの行事でのパーティー料理の計画と作成	a:子供にとって食事は健康を維持し成長するため最も大切であることを理解し、その知識に基づいて、子どもが精神的に満足する献立を作成し、調理する技術を身につける。 b:食事は精神的に満たされることも大切であることを理解し、献立に工夫を凝らすことができる。また食材購入に関しても、気遣いができる。 c:実習の中でお互いに助け合い、実習を円滑に進める姿勢がうかがえる。	献立作成プリント 調理実習中のパフォーマンス	振り返りシート 調理実習中のパフォーマンス	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度